

2018年3月期 12月度 月次売上概況(速報)についてのお知らせ

土日祝日数	前年比(日)	±0	±0	-1	±0	±0	±0	±0	-1	±0	-1	±0	+1	+1	-3	-1	±0	-2	+2	-1	±0
国内売上高(全業態)	16年12月	17年4月	17年5月	17年6月	17年7月	17年8月	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
全店	額(百万円)	31,097	22,250	20,597	17,853	21,470	19,402	18,539	20,333	27,719	32,926			200,992	60,699	59,411	80,978		120,110		
	前年比(%)	3.6	5.1	9.8	0.0	-6.9	-0.8	-1.4	-2.7	0.2	5.8			1.1	5.1	-3.3	1.7		0.8		
既存店	前年比(%)	3.7	5.8	10.4	0.4	-6.4	-0.3	-1.3	-2.6	-0.3	5.5			1.2	5.6	-2.9	1.4		1.2		
国内客数(全業態)	16年12月	17年4月	17年5月	17年6月	17年7月	17年8月	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
全店	人数(千人)	3,572	3,176	2,942	2,544	2,883	2,816	2,464	2,611	3,028	3,571			26,035	8,662	8,163	9,210		16,825		
	前年比(%)	-2.9	1.5	0.2	-2.1	-6.5	-4.9	-2.2	-6.4	-0.2	-0.1			-2.2	0.0	-4.7	-2.0		-2.3		
既存店	前年比(%)	-2.6	2.5	1.2	-1.2	-5.5	-3.9	-1.4	-5.8	0.3	0.2			-1.4	0.9	-3.7	-1.5		-1.4		
客単価(全業態)	16年12月	17年4月	17年5月	17年6月	17年7月	17年8月	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
既存店	前年比(%)	6.3	3.2	9.1	1.5	-1.1	3.7	0.0	3.4	-0.6	5.2			2.7	4.6	0.8	2.9		2.6		

国内 商品別売上高 既存店前年比(%)	16年12月	17年4月	17年5月	17年6月	17年7月	17年8月	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
カー用品物販	2.8	4.5	11.6	-1.6	-8.0	-0.3	0.5	-1.6	0.8	8.7				1.9	5.0	-3.0	3.4		0.9	
主な商品群	タイヤ	5.2	10.9	41.7	-5.6	-10.7	4.3	0.0	-1.4	3.8	17.2			7.6	16.3	-2.7	8.2		7.0	
	カーエレクトロニクス	-1.8	-4.8	-3.0	-7.5	-16.5	-5.4	-5.3	10.8	6.0	1.3			-3.4	-5.2	-10.2	5.6		-7.9	
	オイル	1.1	3.0	2.6	4.4	1.5	0.7	3.2	-6.3	0.5	-1.7			0.8	3.3	1.7	-2.5		2.5	
	バッテリー	2.4	8.6	2.3	4.3	2.6	-1.3	3.1	-3.0	1.4	7.8			2.8	5.0	1.3	2.7		2.9	
	アクセサリ	-0.1	4.2	0.2	1.7	-2.4	-4.7	-1.0	-9.4	-4.9	-5.2			-2.4	2.1	-2.8	-6.5		-0.4	
サービス	6.6	9.9	12.3	6.9	2.6	3.0	1.5	-0.8	4.2	3.7			4.7	9.7	2.4	2.6		6.0		
車検・整備	10.9	18.7	11.1	12.1	9.8	9.2	2.2	-3.0	-1.4	-2.6			5.9	13.9	7.0	-2.4		10.2		
車買取・販売	4.0	4.6	-0.2	-0.9	-14.8	-7.6	-12.6	-12.7	-19.6	-20.5			-10.3	1.1	-11.9	-17.7		-6.2		
中古カー用品	-1.5	-10.9	-20.2	-17.1	-3.7	-14.0	-26.4	-13.7	-14.2	-7.8			-14.0	-15.8	-15.0	-11.7		-15.4		
燃料	12.3	20.1	9.2	4.5	2.4	3.6	3.4	4.4	14.7	15.1			8.6	11.1	3.1	11.7		6.8		

海外店舗売上高 前年比(全店)(%)	4.5	-2.1	2.5	1.4	0.5	3.8	1.6	-6.7	-1.8	2.8				0.7	1.2	1.3	-1.5		1.8
--------------------	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-----	--	--	--	------------	-----	-----	------	--	-----

店舗数(国内)	オートバックス														498	-2	+2	+3		
	スーパーオートバックス														74					
	オートバックスセコハン市場														9					
	オートバックスエクスプレス														11					
	オートバックスカーズ					+1	-1		+1						13			+1		

2017年12月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上は既存店ベースで+5.5%、全店ベースで+5.8%

売上増減要素:①土日祝日数、前年比で1日減。②西日本を中心とした寒波の影響もありスタッドレスタイヤやタイヤチェーンなど冬季商品が好調。③車検・整備は車検対象台数減少が影響し、台数・金額ともに前年割れ。

④車買取・販売は、買取専門店により買取台数が増加したものの、全体では業販・小売いずれも前年割れ。

【商品別】**タイヤ・ホイール:**タイヤは、テレビCMなど販売促進の強化に加え、西日本を中心とした寒波の影響もありスタッドレスタイヤが好調。加えて値上げに伴う販売単価向上も寄与し、金額ベースでは二桁伸長。また、スタッドレスタイヤの好調に伴い、セット販売を強化しているホイールも二桁伸長。**カーエレクトロニクス:**販売促進を強化したナビゲーションは数量・金額ともに前年割れだったものの、ドライブレコーダーが前年比2倍以上の大幅伸長を継続し、カーエレクトロニクス全体で前年実績を上回った。**オイル:**全体では前年割れだったものの、低価格帯の新製品発売に伴いPBオイルが好調。**バッテリー:**アイドリングストップ車用など高単価商品の好調に加え、寒波による冷え込みの影響もあり、数量・金額ともに前年を上回った。**メンテナンス:**冷え込みに伴い、関東や西日本を中心にタイヤチェーンが好調。**カーリペア:**寒波の影響もあり、フロントガラスの解氷剤など冬季商品が好調。**サービス:**スタッドレスタイヤやドライブレコーダーの好調に伴い、タイヤ交換工賃およびカーエレクトロニクス工賃が好調。車検・整備は、予約済み顧客の入庫促進に注力しているものの前年割れ。全店ベースでは台数前年比▲8.1%、金額前年比▲2.7%。**車買取・販売:**車買取専門店による買取台数増加が寄与し、業販台数は前年を上回ったものの、既存カーズ加盟店における業販および小売が低調で全体では前年割れ。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲5.7%、金額前年比▲13.3%。

出店・退店状況 12月度 国内:新店1、退店0、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、海外:新店0、リロケーション0、退店0

12月末 国内店舗数: 605店舗(オートバックス498、スーパーオートバックス74、オートバックスセコハン市場9、オートバックスエクスプレス11、オートバックスカーズ13) 海外店舗数: 41店舗

・こちらのデータはフランチャイズ加盟法人の運営する店舗を含むオートバックスグループの小売売上であり、当社連結および単独の売上高とは異なり、会計監査人による監査は受けておりません。

・最新データにつきましては、速報値となっています。尚、過去に遡って調整が入る場合もございます。

・「全業態」は、オートバックス、スーパーオートバックス、オートバックスセコハン市場、オートバックスエクスプレス、オートバックスカーズです。 ・オートバックスの店舗数には、Smart+1茨木西店、オートバックスガレージ府中、オートバックスMiniを含んでおります。

・土日祝日数について、年末年始(12月29日~1月3日)は土日祝日数としてカウントしています。

2017年4月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで+5.8%、全店ベースで+5.1%	
売上増減要素: ①タイヤの履き替え需要が増加したことや車検・整備の好調に伴い、買上げ客数が増加し、全般的な売上増に貢献。②車検・整備は2回目以降の車検対象台数の増加に加え、店舗での取り組み強化が進み二桁伸長。③車買取・販売は買取成約台数の増加に伴う業販の好調に加え、新車販売も好調で、台数・金額ともに前年を上回った。	
【商品別】タイヤ・ホイール: タイヤは北海道など一部のエリアを除き履き替え需要が増加したことにより、数量・金額ともに二桁伸長。また、タイヤの好調に伴い、ホイールは軽自動車用サイズの商品を中心に好調に推移 カーエレクトロニクス: 後半より販売促進企画を実施したものの、ナビゲーションは数量・金額ともに前年割れ。一方で、後部座席用モニターやETC2.0は好調を維持。 バッテリー: アイドリングストップ車用バッテリーが好調に推移し、数量・金額ともに前年実績を上回った。 メンテナンス: 降水量が多かったことや車検時の付帯販売強化によりワイパーが好調。また、タイヤ交換の際に使用するジャッキなどの工具類も好調。	
アクセサリ: 品揃えの見直しも奏功し、フロアマットやクッションなどが好調。 カーリペア: 「洗車の日」に向けた売場作りを行ったこともあり、シャンプーやブラシなどの洗車関連商品やガラス撥水剤などが好調。	
サービス: タイヤの履き替え需要増加に伴い、タイヤ交換工賃が伸長。加えて車内消臭など物販を伴わないサービスメニューや、プレーキオイル交換など車検に付帯するサービスメニューも好調に推移。車検・整備は、全店ベースで台数前年比+20.8%、金額前年比+17.6%。	
車買取・販売: 店舗での買取査定強化により買取成約台数が増加し、オートオークションなどへの業販が好調。小売においては、中古車販売は前年実績を下回ったものの、新車販売が好調。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+12.3%、金額前年比+7.4%。	

2017年5月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで+10.4%、全店ベースで+9.8%	
売上増減要素: ①土日祝日日数、前年比で1日減。②6月からの値上げに伴う駆け込み需要によりタイヤの売上が大幅に増加し、全体の売上を牽引。③車検・整備は2回目以降の車検対象台数増加に加え、店舗での取り組み強化が進み、二桁伸長を継続。④車買取・販売は買取査定における成約率向上に伴う業販の伸長に加え、新車販売が好調で売上増加。	
【商品別】タイヤ・ホイール: 値上げ前の駆け込み需要に伴い、タイヤは数量・金額ともに前年比+40%以上の大幅伸長。また、タイヤの好調に伴い、軽自動車用・コンパクトカー用サイズを中心にホイールも好調。 カーエレクトロニクス: 全体では前年割れだったものの、GW期間中の販売促進企画が奏功し、大画面タイプを中心にAV一体型ナビゲーションが好調。また、ナビゲーションとの付帯販売を強化している車載モニターも好調に推移。 オイル: 客数や車検の増加に伴い好調で、前年実績を上回った。 バッテリー: 数量は前年割れだったものの、高単価なアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、金額では前年比プラス。 メンテナンス: 車検時の付帯販売強化によりワイパーが好調。 カーリペア: 店舗での売場展開の強化に加え、比較的晴天に恵まれたこともあり、シャンプーやワックスなどの洗車用品が好調に推移。 サービス: タイヤの売上増加に伴い、タイヤ交換工賃が大幅伸長。加えてタイヤ交換時に付帯販売を強化している足回りコーティングも好調。車検・整備は、全店ベースで台数前年比+10.7%、金額前年比+10.2%。	
車買取・販売: 業販は、店舗での買取査定の強化が進んだことに伴い買取台数が増加し、前年実績を上回った。小売においては、中古車が前年割れだったものの、新車販売が好調。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+12.7%、金額前年比+4.2%。	

2017年6月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで+0.1%、全店ベースで▲0.3%	
売上増減要素: ①6月からの値上げに伴う駆け込み需要の反動でタイヤの売上が減少したものの、その他商品は堅調。②車検・整備は2回目以降の車検対象台数増加を背景に、店舗での取り組み強化が奏功し、二桁伸長を継続。③車買取・販売は買取における成約率向上により業販が伸長し、小売は新車販売が好調で売上増加。	
【商品別】タイヤ・ホイール: タイヤは前月の値上げ前の駆け込み需要の反動も影響し前年割れ。しかしながら値上げに伴い販売単価は向上。また、タイヤの販売数量減少に伴い、特に軽自動車用およびコンパクトカー用サイズが低調で売上減少。	
カーエレクトロニクス: 月度後半より販売施策を強化したものの、AV一体型ナビゲーションが低調。一方で、ナビゲーションとの付帯販売を強化している車載モニターやETC2.0が好調に推移。 オイル: 数量はほぼ前年並みだったものの、走行距離の長い車両向けのオイルが好調で、金額では前年を上回った。 バッテリー: 数量は前年割れだったものの、アイドリングストップ車用バッテリーが好調で単価が向上。金額では前年実績を上回った。 メンテナンス: エアコンフィルターやルーフキャリアなどが好調で前年比プラス。 アクセサリ: ロングドライブ関連商品や快適・便利グッズなどが好調。	
カーリペア: 店舗での売場展開の強化により、シャンプーやワックス、スポンジなどの洗車用品が好調に推移。 サービス: タイヤの売上減少に伴い、交換工賃が前年割れだったものの、物販を伴わない板金・塗装やボディコートなどは好調に推移。車検・整備は、全店ベースで台数前年比+9.3%、金額前年比+11.1%。	
車買取・販売: 店舗での買取査定における成約率の向上に伴い業販が好調。小売は、中古車が前年割れだったものの、新車販売が好調で前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+15.7%、金額前年比+2.1%。	

2017年7月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲6.4%、全店ベースで▲6.9%	
売上増減要素: ①主力商品群であるタイヤ・ホイール、カーエレクトロニクスの低調が、カー用品全体の売上減少に影響。②車検・整備は2回目以降の車検対象台数増加を背景に、店舗での取り組み強化により好調を維持。③車買取・販売は買取査定強化により買取台数が増加したものの、小売が低調で前年割れ。	
【商品別】タイヤ・ホイール: タイヤは値上げにより販売単価が上昇したものの、値上げ前の駆け込み需要の反動もあり、数量・金額ともに前年割れ。また、ホイールはタイヤの売上減少に伴い、軽自動車やコンパクトカー用を中心に売上減少。	
カーエレクトロニクス: 販売促進を強化したものの、各メーカー新商品の発売時期が変更になったことも影響し、ナビゲーションが数量・金額ともに前年割れ。また、ナビゲーションが低調だったことに伴い、同時販売を強化している後部座席用モニターやETCなども前年割れ。	
オイル: 数量は前年割れだったものの、クリーンディーゼル車用オイルなどが好調で、金額では前年を上回った。 バッテリー: 数量は前年割れだったものの、アイドリングストップ車用バッテリーなどが好調で、金額では前年を上回った。	
メンテナンス: エアコンフィルターやルーフボックスなどが好調で、前年並みを維持。 カーリペア: 不安定な天候が影響し、シャンプーやワックスなどの洗車用品が低調。	
サービス: タイヤ交換工賃やカーエレクトロニクス取付工賃が前年割れだった一方で、車検・整備や板金・塗装などが好調で、サービス全体では前年を上回った。車検・整備は、全店ベースで台数前年比+7.4%、金額前年比+8.8%。	
車買取・販売: 業販は、買取専門店による買取件数増加が寄与し、台数では前年を上回ったものの、単価が低下したことにより金額は前年割れ。小売は新車・中古車ともに前年を下回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲1.3%、金額前年比▲10.2%。	

2017年8月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲0.3%、全店ベースで▲0.8%	
売上増減要素: ①降雪エリアにおけるスタッドレスタイヤ値上げ前の積極販売などによりタイヤが好調。②車検・整備は2回目以降の車検対象台数増加に加え、店舗での取り組み強化により好調。③車買取・販売は買取査定強化により買取台数が増加したものの、中古車販売が低調で前年割れ。	
【商品別】タイヤ・ホイール: 夏タイヤはほぼ前年並みだったものの、9月からのスタッドレスタイヤ値上げを前に、北海道や東北などにおいて早期販売を実施し、スタッドレスタイヤが好調。また、ホイールはスタッドレスタイヤとのセット販売が好調で、数量・金額ともに前年を上回った。	
カーエレクトロニクス: 各メーカー新商品の発売時期が変更になったことも影響し、ナビゲーションが数量・金額ともに前年割れ。一方で、ナビゲーションとの同時販売を強化している後部座席用モニターやETC2.0などは前年を上回った。	
オイル: クリーンディーゼル車用オイルなどが好調で、金額では前年を上回った。 メンテナンス: 全国的に降雨が多かった影響でワイパーが好調。また各地で豪雨災害があった影響か緊急脱出用ハンマーなど防災用品も好調。 アクセサリ: 天候の影響もあり、日除け類が低調。	
カーリペア: 雨天が多かった影響もあり、ウインドウォッシャー液などが好調。 サービス: ナビゲーション販売が低調だったことに伴いカーエレクトロニクス取付工賃が前年割れだった一方で、車検・整備や板金・塗装などが好調を維持。車検・整備は、全店ベースで台数前年比+6.2%、金額前年比+8.5%。	
車買取・販売: 業販は、店舗での査定強化や買取専門店による買取件数増加が寄与し、台数・金額ともに前年を上回った。小売は新車販売が好調だったものの、中古車販売が低調で、前年を下回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+1.3%、金額前年比▲3.4%。	

2017年9月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲1.3%、全店ベースで▲1.4%	
売上増減要素: ①タイヤはスタッドレスタイヤの早期販売や単価の上昇により前年並み。一方で、カーエレクトロニクスの低調が継続。②車検・整備は車検対象台数の減少に伴い台数ベースでは前年を下回ったものの、金額では前年を上回った。③車買取・販売は買取成約台数の減少に加え、小売も低調で前年割れ。	
【商品別】タイヤ・ホイール: タイヤは早期販売を強化している北海道や甲信越などのエリアでスタッドレスタイヤが好調。タイヤ全体では数量が前年割れだったものの、値上げに伴う単価アップも寄与し、金額では前年並み。ホイールはスタッドレスタイヤとのセット販売が好調で、数量・金額ともに前年を上回った。	
カーエレクトロニクス: 新車販売台数の復調も追い風となり、ドライブレコーダーやETC2.0車載器が好調だったものの、ナビゲーションは数量・金額ともに前年割れ。 オイル: 走行距離の長い車両向けのオイルの販売強化が奏功し、数量も前年比プラス。	
バッテリー: 数量は前年割れだったものの、アイドリングストップ車用バッテリーなど高単価商品が好調で、金額では前年を上回った。 メンテナンス: ブースターケーブルや三角停止板などの安全用品が好調で前年並みの実績。	
カーリペア: 土日を中心に好天が多かった影響もあり、シャンプーやワックス、スポンジなどの洗車用品が好調で、カーリペア全体で前年を上回った。 カースポーツ: 「ペダルの見張り番」の好調により電気系パーツの売上が伸長し、カースポーツ全体で前年を上回った。	
サービス: 車検・整備は台数前年割れだったものの、車検に伴う付帯整備に加え、板金・塗装などが伸長し、金額では前年を上回った。車検・整備は、全店ベースで台数前年比▲5.5%、金額前年比+1.5%。	
車買取・販売: 業販は、買取専門店による買取台数が増加したものの、カーズ加盟店含む全体では買取台数が減少し、前年実績を下回った。小売は新車・中古車ともに前年割れ。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲3.0%、金額前年比▲7.0%。	

2017年10月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月上は既存店ベースで▲2.6%、全店ベースで▲2.7%

売上増減要素:①土日祝日数、前年比で1日減②あおり運転などによる事故に関する報道なども追い風となり、ドライブレコーダーに対する需要が大幅に増加。③車検・整備は10月から車検対象台数減少のサイクルに入り、台数・金額ともに前年割れ。④車買取・販売は、買取台数は増加したものの中古車販売が低調で前年割れ。

【商品別】タイヤ・ホイール:価格を据え置いたPBスタッドレスタイヤを中心に、降雪エリアだけでなく首都圏などでも早期販売が好調で、冬タイヤが前年を上回った。ホイールは軽自動車用、SUV用などが好調だったものの、数量・金額ともに前年割れ。

カーエレクトロニクス:販売促進を強化したナビゲーションは低調だったものの、ドライブレコーダーの需要が急増し、台数・金額ともに前年比2倍以上の大幅伸長。カーエレクトロニクス全体の売上を牽引。**バッテリー:**アイドリングストップ車用バッテリーなど高単価商品が好調だったものの、数量・金額ともに前年を下回った。**メンテナンス:**全体では前年割れだったものの、台風など降雨が多かった影響もあり、ワイパーが好調。また、緊急脱出用ハンマーや三角停止板などの応急安全用品も好調。**カーリペア:**天候の影響もあり、洗車用品が低調だった一方で、フロントガラスの撥水剤などウインドケミカルが好調。**サービス:**ドライブレコーダーの好調に伴い、カーエレクトロニクス取付工賃が増加。車検・整備は、店舗での予約済み顧客の入庫促進に注力しているものの、車検対象車両の減少が影響し前年割れ。全店ベースでは台数前年比▲9.2%、金額前年比▲3.6%。

車買取・販売:全体では査定台数が減少したものの、車買取専門店による買取成約台数増加が寄与し、業販台数は前年を上回った。小売は新車が好調だったものの、中古車が低調。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲1.2%、金額前年比▲7.1%。

2017年11月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月上は既存店ベースで▲0.3%、全店ベースで+0.2%

売上増減要素:①北日本を中心とした寒波の影響もあり、スタッドレスタイヤが好調で、また10月より需要が拡大したドライブレコーダーが大幅伸長②車検・整備は車検対象台数減少が影響し、台数・金額ともに前年割れ③車買取・販売は、買取台数が増加したものの、業販および小売が低調。

【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤは、スタッドレスタイヤへの履き替えが進み、価格を据え置いたPBスタッドレスタイヤの好調に加え、値上げに伴う販売単価の向上も寄与し、前年実績を上回った。ホイールはSUV用などが好調だったものの、軽自動車・コンパクト車用が低調で、数量・金額ともに前年割れ。

カーエレクトロニクス:販売促進を強化したナビゲーションは低調だったものの、10月からの需要拡大を背景に、ドライブレコーダーが台数・金額ともに前年比2倍以上の大幅伸長を継続。カーエレクトロニクス全体で前年実績を上回った。

バッテリー:アイドリングストップ車用バッテリーなど高単価商品が好調で、金額ベースでは前年を上回った。**メンテナンス:**昨年11月の関東甲信地方を中心とした積雪による売上増加の反動で、タイヤチェーンが低調。**カーリペア:**比較的好天が多かった影響もあり、シャンプーやワックスなど洗車用品が好調。

サービス:スタッドレスタイヤやドライブレコーダーの好調に伴い、それぞれの取付工賃が伸長。車検・整備は、車検対象台数が減少している中、店舗での予約済み顧客の入庫促進に注力しているものの前年割れ。全店ベースでは台数前年比▲7.6%、金額前年比▲1.5%。

車買取・販売:車買取専門店による買取台数増加が寄与し、業販は前年を上回ったものの、既存カーズ加盟店における業販および小売が低調。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲12.7%、金額前年比▲9.7%。